



作成者：浜松山里いきいき応援隊
舟橋 卓也

佐久間分校の寮の清掃を行いました！

佐久間分校の寮である啓成寮で、月2回ほど舎監当番をやらせて頂いていますが、気づけばもう1年。入りたての頃が、今ではどこか懐かしく感じられます。

昨年度、佐久間分校は志願者数が2年連続で15人未満となり、今年も定員に届かなければ来年は募集停止、つまり閉校の危機が迫っていました。そんな中、今年も20名の新入生が入学し、学校が存続できることに私もほっとしています。

そんな新入生を迎えるにあたり、私を含めた舎監さんたちで啓成寮の清掃活動を行いました。新入生を気持ちよく迎えらるるようにと、皆で力を合わせて綺麗にした寮には、これから始まる日々への期待が自然とあふれているように感じました。

～私の啓成寮との思い出～

山いき隊就任後、初めて舎監当番を務めることになった時、啓成寮にはまだ3人の1年生（現3年生）しかおらず、しかも3人も人見知り、なかなか会話を交わすのも難しい状況でした。私は常に気を遣いながら、どう距離を詰めれば良いかを考えていました。

4月になって新入生（現2年生）が入学してくると、寮の雰囲気は一変。これまで抱いていた印象とは違い、1年生が2年生に積極的に打ち解けていく姿が見られるようになりました。時には1年生が2年生をからかう場面もあり、気づけば学年の境界線を感じさせない空気感に変わっていました。

そんな新鮮な空気に感化されて、私も寮生と近所にいる蛍を見に行ったり、今ではボードゲームをして遊んだりするようになってきました。ちなみに、今年入学した新1年生もまた個性豊かで、寮に新しい空気を生み出しています！



ブラックバスの再放流が禁止に！浦川漁協に直撃しました！

佐久間町では毎年5月上旬になると、佐久間ダム周辺の天竜川や大千瀬川で稚鮎の放流が行われます。放流された鮎は川を遡上しながら成長し、地域の自然や鮎釣り文化を支える大切な水産資源となっています。

しかし近年、佐久間町の河川では外来魚であるブラックバスが増加し、鮎をはじめとする在来生物への影響が深刻化しています。地域の漁協や関係機関が対策に取り組んでいるものの、十分な抑制には至っていないのが現状となっており、今年に至っては佐久間町の漁協関係者から静岡県にブラックバス規制に係る要望書を提出するまでに至りました。

そこで今回、浦川漁協が実施するブラックバスの駆除活動を見学するとともに、漁協関係者の方々から佐久間町周辺の河川で起きている現状や課題についてお話を伺いました。



ブラックバスは、川の中に網を入れて魚を追い込む「刺し網」による方法で駆除が行われています。

～具体的な内容について～

2026年8月1日から2027年7月31日までの期間、天竜川上流域（佐久間ダム～水窪川合流地点）でブラックバス類とブルーギルの「再放流」が禁止されます。今回出された「静岡県内水面漁場管理委員会指示第8-1号」では、対象魚種をオオクチバス属の魚（以下、ブラックバス）とブルーギルとし、これらを採捕した者は、その水域および連続する水域に再び放してはならないと定めています。つまり、対象エリアで釣った魚を同じ川へ戻す行為が、正式にルール違反となります。

この背景には、外来魚（ブラックバスとブルーギル）による生態系への影響があります。ブラックバスのような捕食魚が増えると、鮎は常に警戒しながら行動するようになります。つまり、本来なら縄張りを守るために活発に動き回るはずが、

- ・深みや障害物の近くに隠れる
- ・流れの緩い場所へ逃げる

といった行動が増え、鮎の習性に悪影響を及ぼします。

特に、右の写真にあるブラックバスの一種である「コクチバス」は流水や低水温に強く繁殖力も高いため、わずかに残った個体からすぐに繁殖してしまい、駆除だけでは追いつきにくいとされています。

今回出された委員会指示は、単なるお願いではなく、漁業法に基づいて定められた正式な決まりです。今回の規定については、ルールを破ったからといって、すぐに罰則が科されるわけではありません、「罰則がすぐでないから大丈夫」ということではありません。

今回の再放流禁止は、単にブラックバスを減らすためだけのルールではなく、鮎をはじめとする在来魚や水生生物、そしてそれらを育む天竜川の豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐための取り組みです。



上：コクチバス（ブラックバスの一種）
下：ニゴイ（コイに似た在来種）



浦川地区の河川で釣れる鮎。ブラックバスは鮎の生育に悪影響を与えており、佐久間町の河川における生態系を破壊している厄介者。鮎をはじめ、佐久間町を流れる河川の水資源を守るには、一人ひとりの理解が必要です。

奥三河の紹介⑤：標高1,358メートルの美しき楽園！茶臼山高原の芝桜



満開時の芝桜の光景。標高1,358メートルの丘に咲き乱れる芝桜は、訪れる人の心をそっと包み込みます。

また、この時期は少し雪が残った南アルプスの山々も一望でき、春の彩りと雄大な自然が織りなす、ここでしか味わえない景色を楽しむことができます！

愛知県の最北端に位置する茶臼山は、標高1,358メートルで愛知県最高峰とされています。

茶臼山高原では、例年5月中旬から6月上旬にかけて「芝桜まつり」が開催され、山頂付近の丘一面に約40万株の芝桜が咲き誇ります。

会場からは南アルプスをはじめとする雄大な山々を望むことができ、遮るものがない360度のパノラマが広がります。天気の良い日には、名古屋や浜松方面まで見渡せることもあります。

また、スキー場のリフトを利用して山頂付近まで上がることができるため、空中散歩を楽しみながら絶景を満喫できるのも魅力の一つです。

佐久間町からは車で約1時間とアクセスしやすく、日帰りドライブにも最適です。静岡県内では意外と知られていませんが、佐久間町だからこそ気軽に訪れることができる穴場の絶景スポットです！！

～連絡先～

メール ▶ tkyyamaiki0429@gmail.com

Instagram ▶ [@tkygraph_429](https://www.instagram.com/tkygraph_429)（個人アカウント）

[@tenryu_sakuma](https://www.instagram.com/tenryu_sakuma)（佐久間山いき隊アカウント）

Instagramのアカウントは
こちらからも追加できます！

